

第 6 回松阪市環境基本計画策定委員会

日時 平成 18 年 3 月 2 日(木) 13 時 30 分～16 時



場所 第三銀行本店 3 階会議室

議題

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 第三銀行における環境にかかる取組みについて
- (3) 松阪市役所における I S O 14001 の取組みについて
- (4) 学校 I S O について
- (5) 客観的な市の環境に関する現状説明
- (6) 平成 18 年度の策定委員会開催日時について
- (7) その他

出席者 11 名

策定委員会委員 7 名

西 孝、石川通子、石村武紀、川村敏也、小坂滋子、水本和雄、松本美智

第三銀行総務部総務課 松田主任調査役

事務局 3 名

三田環境推進担当主幹、谷岡環境推進担当主査、若山環境推進係主任

質疑等の内容

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 第三銀行における環境にかかる取組みについて
 - ・平成 12 年 10 月 I S O 推進プロジェクトチーム発令
 - ・平成 13 年 7 月 30 日 I S O 14001 : 1996 認証取得 (本部並びに本店営業部を対象)
 - ・平成 17 年 4 月 I S O 14001 : 2004 認証取得

- ・ 13 年度～15 年度の目標に紙使用量 10%減、電気使用量 6. 6%減を設定。紙は目標達成、電気は 0. 2%未達成。

環境関連商品の開発・販売

- (1) 環境にやさしい企業に投資するエコファンド
 - (2) 太陽光発電を備えた住宅の購入・新築者への低金利住宅ローン
 - (3) 低公害車・ハイブリッドカー購入者への低金利マイカーローン
 - (4) 太陽光発電設置のためのリフォーム対象低金利ローン
- ・ 16 年度～18 年度の目標に紙・電気使用量削減の他に、紙リサイクルシステムの拡大、リサイクル商品の購入、環境関連商品の開発・販売を設定。

環境関連商品の開発・販売

- (1) 熊野古道保全のための定期預金の発売
 - (2) 女性の制服を廃止し、軍手にリサイクルして三重県に寄贈
 - (3) オール電化住宅の購入・新築者への低金利住宅ローン
- ・ 銀行から出る廃棄文書を委託業者が回収後、シュレッダーにて粉碎し、ブロック状にして製紙会社へ持ち込み、ティッシュペーパー等へリサイクル。
 - ・ 再生されたりリサイクル商品を買取り、粗品として顧客へ頒布したり、行内で使用。
 - ・ 平成 19 年 3 月までに、東京支店を除く全国 96 店舗で紙リサイクルシステムを拡大予定。
 - ・ I S O は常に向上志向であるため、認証取得後の審査も厳しく、企業の経済負担も大きいので、脱退企業も増えてきている。
 - ・ 職員の入れ替わりの激しい銀行は、その都度職員研修が必要。
 - ・ しかし一度取り組んだからには、もっと運動を広げていこうと思っている。



〔質疑応答から〕

委員：オール電化が省エネになるのはなぜ？

銀行：オール電化はすべて電気なので、エネルギー的にクリーンで安全であるため。エネルギー消費から見るとそう大差はないが、枯渇していく海底油田などと違

い、電気は風力・太陽光と選択余地も多く、今の発売状況を見てもオール電化はとても増えている。

(3) 松阪市役所におけるISO14001の取組みについて

- ・平成13年6月から松阪市はISOに取り組んでいる。
- ・市役所から出るゴミの処分方法は次のとおり。
 - 財務課管理のゴミ … 日常業務で出るゴミで、中でも個人情報シュレッダーにかけて、清掃課が焼却。その他のゴミは清掃課が回収後、業者が買い取りリサイクル。
 - 総務課管理のゴミ … 主に機密文書で、役所までシュレッダー車が来て職員立会いのもとで粉砕し、リサイクル。
- ・リサイクルトイレットペーパーは役所で買い取り、庁舎で使用しているが、現在は他の施設分までは回らない。(17年度で4万個購入)
- ・ISOは本庁舎、水道部、教育委員会、下水道部で取組み、その他の施設はISOの簡易版「地球温暖化対策率先実行計画」に取り組んでいる。

(4) 学校ISOについて

- ・平成12年度から3年ごとに教育委員会から審査、認定を受ける。
- ・学校それぞれで環境に関する取組みを行い、年に数回学校間交流を行う。
- ・学校全体はエコクラブで目標を決め、子供たちが毎日チェックする。
- ・子ども達の環境に対する意識を育て、施策実現に向けて取り組んでいる。
- ・子どもの方が大人よりも、ずっと環境意識は高いといえる。



(5) 客観的な市の環境に関する現状説明

- ・ 環境行動を数値化することにより、同じ課題を多くの人と共有し、客観的認識を持つことが出来る。
- ・ 「松阪市の環境の現状と課題」から松阪市の川、大気は環境基準を下回っており、比較的良
好な状態といえる。

(6) 平成 18 年度の策定委員会開催日時について

- ・ 4 月初旬に各委員の都合を聞き、その後日時を決定する予定。

(7) その他

- ・ 大人の環境意識が子どもに比べて低すぎる。
- ・ 環境教育は小さい頃からしっかり行い、大人になった時に環境に対して高い意識を持てるよ
うにしたい。
- ・ 何事も行政任せでは無く、地域住民が取り組んでいった方が長く続く。